



\*\*\*

### 《問題Ⅲ》

ろんりてきどっかいりよくA

(30点)

●こたえ

- 一 ア
- 二 しゃしんをとること
- 三 わたしのしゃしんをたくさんとってくれる。

■てんすう

各10点

◆かいせつ

- 一 この文章は何の話なのかを読みとります。さいしよからさいごまで、「わたしのおじいちゃん」についての話が書かれています。
- 二 二行目に「しゃしんをとることがすきで」とあります。
- 三 三行目「わたしがあそびにいくと」の後に書いてあります。

\*\*\*

### 《問題Ⅳ》

ろんりてきしこうりよく

(30点)

●こたえ

- 一 (1) ア (2) ウ
- 二 (1) わたしは つばめの すを 見つけた。
- (2) ぼくの いもうとは 水いろの ワンピースを きています。

■てんすう

各7点

■各8点

◆かいせつ

日本語のきまりにしたがって、正しい一文を作れるか。

一

(1) 「ひろい」が説明するのは、場所をあらわす言葉だから「へや」。

(2) 「ひも」を説明する言葉は「ほそながい」。まずじゅつ語を見つけ、それに合う主語を見つけます。

(1) じゅつ語は「見つけた」で、主語は「わたしは」。わたしは何を見つけたかという「つばめの」すを。

(2) じゅつ語は「きている」で、主語は「いもうとは」。いもうとは何をきているかという「水いろの」「ワンピースを」。主語の「いもうとは」の

前に「ぼくの」をつけくわえます。

\*\*\*

### 《問題Ⅴ》

ろんりてきどっかいりよくB

(30点)

●こたえ

- 一 (1) オ ↓ イ ↓ ア ↓ エ ↓ ウ (2) ア
- 二 (1) イ (2) ア

■てんすう

各10点

■各5点

◆かいせつ

- 一 話のじゅん番を考える。
- (1) ア「すると」、「イ」そこで、「ウ」しかし、「エ」ほかの「」からはじまることはないので、さいしよはオ。オ「いじわるをされていました」↓イ「そこで、ねずみたちは」たいさくを考えました。その後、ア「びきのねずみが」「ねこのくびにすずをつけよう」と、ていあんします。それにたいして、エ「ほかのねずみたちも」さんせいしますが、ウ「しかし」それを行動にうつすゆう気のあるねずみはいなかった、というお話。
- (2) いいことを思いついたのに、それを実行できるねずみはいなかったのだから、ア。
- 二 気持ちをあらわす言葉をおぼえましょう。
- (1) 「がっかり」は、のぞみどおりにならず、ざんねんに思うようすをあらわす言葉。
- (2) 「はらはら」は、心配して気をもむようすをあらわす言葉。

\*\*\*

### 《問題Ⅵ》

ろんりてきひょうげんりよく

(20点)

●こたえ

- (1) オ (2) ウ (3) ア (4) イ (5) エ

■てんすう

各4点

◆かいせつ

絵を見て、ありのままをとらえてひょうげんする

- (1) 女の子は何をいっているのか。
- (2) 女の子は何を見ているのか。
- (3) 後ろからのぞいているのはだれか。
- (4) 何がふっているのか。
- (5) まわりにさいているのは何か。